

# ビルマ女性国際法廷



日時 **2010年6月27日(日)** 午後1時から5時

場所 **青山学院大学6号館 模擬法廷**

東京都渋谷区渋谷 4-4-25

JR山手線・東急線・京王井の頭線「渋谷駅」宮益坂方面出口より徒歩10分  
地下鉄「表参道駅」B1出口より徒歩5分

参加費 **500円** (申込不要)

軍事政権が続くビルマ（ミャンマー）。

ここに生きる女性たちは暴力にさらされ

彼女たちの生活と自由は脅かされています。

軍事政権は、少数民族の女性たちに性的な暴力を繰り返し

3,300以上の村を破壊し、人々を殺害、拷問し、

女性や少女を厳しい強制労働に駆り立て、

少女を子ども兵にしています。

民主化運動のリーダー、アウンサンスーチーさんは自宅に軟禁され、

2,100人以上の政治犯たちが投獄され、自由を奪われています。

軍事政権は、国連などから何度批判をされても人権侵害をやめることなく  
犯罪の責任を問われません。

何十年もの長いあいだ、残虐な圧制に耐えてきたビルマの女性たちが  
いま、勇気をもって立ちあがります。

2010年3月2日、ニューヨークで、ビルマ女性連盟と  
ノーベル平和賞を受賞した女性たちのイニシアティブで  
初めてのビルマ女性国際法廷が開催され

軍事政権が人道に対する罪を犯したことが認定されました。

今度はビルマから軍政の抑圧を受けてきた女性たちが来日して証言、  
この日本でアジア初のビルマ女性国際法廷を開催します。

主催 ビルマ女性連盟 (Women's League of Burma)  
共催 特定非営利活動法人ヒューマンライツ・ナウ  
協賛 ビルマ市民フォーラム  
全日本フェミニスト議員連盟  
社団法人アムネスティ・インターナショナル日本  
ヒューマン・ライツ・ウォッチ  
在日ビルマ民主化グループ  
アジア女性資料センター 他  
助成 株式会社ラッシュジャパン



# プログラム



## 裁判官の宣誓

### 起訴状朗読・冒頭陳述

証人尋問・証拠調べ（専門家証人と人権侵害の被害にあった女性たちが証言します）

### 論告・弁論

### 判決

#### 《裁判官》

- 濱田 邦夫（弁護士 元最高裁判事）  
久保利 英明（弁護士 元日弁連副会長）  
後藤 弘子（千葉大学教授 内閣府男女共同参画局 女性に対する暴力調査会委員）  
新倉 修（青山学院大学教授 国際民主法律家協会事務局長）  
敷田 みほ（会社経営 市民の裁判員制度・つくろう会元事務局長）

#### 《検察官》

- 雪田 樹理（弁護士 ヒューマンライツ・ナウ 女性プロジェクト）  
渡邊 彰悟（弁護士 ビルマ市民フォーラム事務局長）  
石田 真美（弁護士 ヒューマンライツ・ナウ ビルマプロジェクト）  
弘川 欣絵（弁護士）  
イノハライサム（米国カリフォルニア州弁護士）  
樺島 清恵（米国ニューヨーク州弁護士・コロンビア特別区弁護士）  
小田川 綾音（弁護士）  
三輪 咲絵（弁護士）

#### 《弁護士》

- 矢花 公平（弁護士）  
原田 いづみ（弁護士）  
鈴木 多恵子（弁護士）



### Women's League of Burma ビルマ女性連盟

1999年結成。ビルマの12の少数民族を含む13の女性団体によって構成され、女性のエンパワーメントと平等、暴力からの解放を求めて活動しています。



### HumanRightsNow\* ヒューマンライツ・ナウ

国境を越えて世界の人権に取り組む日本発の国際人権NGO。アジアを中心に各国の人権侵害に光を当て告発し、状況を変えていく活動をしています。

ヒューマンライツ・ナウ女性に対する暴力プロジェクトは、アジア各国のNGOとともに暴力根絶のための政策提言を行い、アジアにおける女性の人権のウォッチドッグの役割を果たそうとしています。ビルマ・プロジェクトは軍事政権の抑圧の続くビルマの人権監視、告発、国連や各国政府への働きかけを行っています。

#### 【助成】 株式会社 ラッシュジャパン



ラッシュジャパン チャリティプログラム  
ボディクリーム「チャリティポット」の商品代金2,200円（税込）は消費税を除いてすべてチャリティに用いられ、ラッシュを通じて草の根活動団体に寄付されます。知られざる問題に地道に取り組み、ユニークでオリジナリティあふれる方法で未来を切り開く活動を、ラッシュはこれからも積極的に支援し続けていきます。  
<http://www.lush.co.jp>